

事業報告書

(第6期)

自 令和4年5月1日
至 令和5年4月30日

公益社団法人 日本義肢装具士協会
文京区本郷 5-32-7



I. 公益目的事業

1 義肢装具をはじめとした福祉用具を必要とする者の生活の質の向上に資する事業

1-1 講座事業

本事業では、国民に対し、義肢装具等の福祉用具を必要とすることが非日常ではないことや、義肢装具等の福祉用具を使用しながら良質な日常生活を送ることに対する理解を深め、対象者の日常生活の質の向上を目的として実施した。

1) 障害者、義肢装具士の啓発に関する事業

高校生など一般者を対象に、障害の理解、パラアスリートとこれを支援する義肢装具士に関する理解を目的に交流イベントを開催した。

■ 第1回 教育機関等への義肢装具啓発プログラム

日程：2022年8月8日（月）

場所：武蔵野市 中央高等学院通信制（webにて開催）

時間：13：30～15：00（4分）

対象：中央高等学院と提携校の高校2年生と3年生。主に2年生

内容：①チーム医療について

②チーム医療に関わる職種紹介

公認心理師 ソーシャルワーカー 義肢装具士 栄養士 言語聴覚士 作業療法士

視能訓練士 診療情報管理士 診療放射線技師 精神保健福祉士 理学療法士

臨床検査技師 臨床工学技士 細胞検査士 臨床心理士 患者・ご家族

■ 第2回 教育機関等への義肢装具啓発プログラム

日程：2022年12月19日（月）

場所：武蔵野市 中央高等学院通信制（webにて開催）

時間：10：30～15：00（30分）

対象：中央高等学院と提携校の高校生

内容：①チーム医療について

②チーム医療に関わる職種紹介

1-2 災害時支援事業

本事業では、国内外の自然災害等の被災地域において被災生活を送る者への生活支援及び義肢装具等の福祉用具の供給に関する支援を各行政機関や関連団体と連携して実施した。

1) JRATの構成団体としての取り組み（大規模災害被災者支援に関する事業）

- ・（一社）日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）の理事会、広報委員会、研修企画委員会、地域 JRAT 組織化支援委員会及び災害時福祉用具等調達普及委員会のそれぞれに理事及び委員を派遣して JRAT 構成団体としての活動を行った。
- ・北海道災害リハビリテーション推進協議会（DoRAT）において活動を行った。
- ・南日本支部各県に対し協力委員を選出した。

2 義肢装具をはじめとした福祉用具に関する学術・技術の向上、研究開発及びその成果の普及・振興に資する事業

2-1 学術大会に関する事業

本事業では、義肢装具等福祉用具に関する学術を普及・発展させ、臨床に役立つ知識と技術を向上させる目的で、教育講演並びに対象者に関する医療、リハビリテーション及び日常生活面での援について臨床経験又は学術経験を有する者の研究成果発表、及び最新機器等の情報提供を行う。

1) 2022 年度 日本義肢装具士協会学術大会

会 期 : 2022 年 7 月 9 日 (土) ~ 7 月 10 日 (日)

会 場 : 岡山コンベンションセンター (対面開催)

2-2 研修セミナーに関する事業

本事業は、義肢装具士が義肢装具等の福祉用具に関する最新技術又は知識を学び、臨床において従来から実施している医療技術を応用発展することで、対象者へより良質な医療技術の提供を実現することを目的とする。

1) 研修セミナーの開催

■開催日時：2022 年 7 月 16 日 (土)、17 日 (日)

テーマ：足底装具実技セミナー第 1 弾 ~基本の足底装具製作適合に必要な技術と評価学~

参加者：16 名 (正会員 12 名, 非会員, 4 名)

開催方法：対面

■開催日時：2022 年 9 月 10 日 (土)

テーマ：生活を支える義肢装具・今後の義肢装具士の役割と課題 第 4 弾

~医療機関から在宅までの車椅子シーティングによる利用者支援~

参加者：41 名 (正会員 39 名, 非会員, 1 名, 学生会員 1 名)

開催方法：WEB

■開催日時：2022 年 9 月 17 日 (土)

テーマ：熱可塑性プリプレグカーボンで短下肢装具を製作しよう！！

~片側支柱付短下肢装具製作法~

参加者：9 名 (正会員 8 名, 非会員, 1 名)

開催方法：実技セミナー

■開催日時：2022年9月17日（土）～9月19日（月）

テーマ：坐骨収納型ソケット実技セミナー ライナー編

参加者：8名（正会員7名，非会員，1名）

開催方法：実技セミナー

■開催日時：2023年2月19日（日）

テーマ：脳卒中の歩行分析～基礎と装具～

参加者：54名（正会員46名，非会員，4名，学生会員4名）

開催方法：WEB

■開催日時：2023年2月25日（土）

テーマ：先天性四肢形成不全児及び小児切断に対する義肢

参加者：60名（正会員46名，非会員，6名，学生会員8名）

開催方法：WEB

■開催日時：2022年3月5日（日）

テーマ：義足デザイン選択のための臨床推論とトラブルシューティング

～義肢装具士への警鐘～

参加者：130名（正会員121名，非会員，2名，学生会員2名，医療関係5名）

開催方法：WEB

2-3 新たに資格を取得した者に対する教育セミナー（生涯学習に関する事業）

本事業は、新たに義肢装具士の資格を取得した者に対し、義肢装具士の業務について理解を深め、義肢装具士が対象者にとって医療技術を習得した専門家としての支援者になるための育成カリキュラムを提供する。

1) 生涯学習標準カリキュラム「新人プログラム」の実施

動画講座 第1期 2022年11月受講期間修了 修了者34名

第2期 2023年5月受講期間修了 受講者5名

対面講座 7月9日（土）学術大会（岡山）にて開催 修了者45名

3 国際協力及び貢献に資する事業

3-1 国際支援活動事業

本事業は、福祉用具に関する技術及び使用に関して発展・開発途上にある国又は地域の人々に対する支援として、海外在住の対象者(国籍問わず)に対し、日本の福祉用具に関する最新医療技術を提供する義肢装具士の活動に対して助成するもので、義肢装具士の技術及び臨床経験を活かして、海外の対象者の日常生活の質の向上及び福祉用具の普及・発展を図るための、国際協力・国際貢献事業である。

1) 国際支援活動助成事業

スリランカ国財政危機および情勢不安により、義肢装具学校への予算が枯渇し、教材が不足して授業ができない状況であるため、SLSPPO (Srilanka School of Prosthetics & Orthotics) に対して国際支援活動助成を行った。

3-2 関連団体との連携・支援事業

本事業では、医療技術関連団体と連携協力し、国内外の福祉用具に関する医療技術の普及・発展に貢献できるよう活動を行う。公益法人及び公益性のある団体が実施する学術、教育、講演、国際支援などの活動に対し、学術・技能向上のための提携交流、支援活動、助成等を行うことがある。

1) 義肢装具関連団体との協力・協働事業の実施

義肢装具関連 3 団体協議会への参画

日本義肢協会各支部との連携

香港義肢矯形師學會との交流

4 義肢装具をはじめとした福祉用具に関する刊行物の発行及び調査研究事業

4-1 学術誌の発行

福祉用具に関する学術論文集として、学術大会等で発表され、その研究成果について討議された義肢装具士の優れた研究論文及び義肢装具士の職域に関連する学術情報を特集記事として提供する学術誌を発行する。

1) PO アカデミージャーナルの発行

30 巻 1 号：「特殊装具 —カーボン装具—」

30 巻 2 号：「パラスポーツにおける医療職の関わり方」

30 巻 3 号：「発達障害に対する理解と義肢装具士」

30 巻 4 号：「ライナーの選択（新規切断から生活期まで）」

4-2 白書の発行

『義肢装具士白書 2022』の刊行へ向けた活動

全体構成の検討、義肢装具士実態調査アンケートの送付と集計作業、全体校正を行った。

II. その他の事業（相互扶助等事業）

1. WEB サイトでの会員限定の情報提供

義肢装具士求人情報の掲載

理事会・委員会等の議事録の掲載

2. 各支部(地域)での会員管理や運営方法についての会議

北海道支部 令和4年10月24日、11月29日

東北支部 令和5年2月18日

東日本支部 令和4年9月11日、令和5年4月9日

3. 会員表彰

1) 第6期最多単位取得者表彰

最多単位取得者の表彰に向けた単位集計

4. 全正会員を対象とした義肢装具士賠償責任保険制度

全正会員の賠償責任保険への加入、任意加入保険の検討

Ⅲ. 理事会、総会等の開催

1. 理事会の開催

第1回 令和4年6月18日 10:00~16:00 形式:テレビ会議 (Zoom)

第2回 令和4年7月23日 13:00~14:00 形式:テレビ会議 (Zoom)

第3回 令和4年9月10日 10:00~16:00 形式:テレビ会議 (Zoom)

第4回 令和4年12月17日 10:00~16:00 形式:テレビ会議 (Zoom)

第5回 令和5年3月11日 10:00~16:00 形式:テレビ会議 (Zoom)

第6回 令和5年4月25日 19:00~19:30 形式:テレビ会議 (Zoom)

2. 常任理事会の開催

第1回 令和4年5月7日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第2回 令和4年6月11日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第3回 令和4年7月1日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第4回 令和4年8月5日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第5回 令和4年9月3日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第6回 令和4年10月1日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第7回 令和4年11月12日 形式:テレビ会議 (Zoom)

第8回 令和4年12月3日 形式:テレビ会議 (Zoom)

- 第9回 令和5年1月14日 形式：テレビ会議（Zoom）
- 第10回 令和5年2月18日 形式：テレビ会議（Zoom）
- 第11回 令和5年3月4日 形式：テレビ会議（Zoom）
- 第12回 令和5年3月9日 形式：テレビ会議（Zoom）
- 第13回 令和5年4月9日 形式：テレビ会議（Zoom）

3. 社員総会の開催

3-1 定時社員総会

令和4年7月16日 令和4年度 事業報告書・計算書類承認等

3-2 臨時社員総会

令和4年9月24日 理事補欠選任の審議等

IV. 常任理事会、各種委員会・WGの報告

1) 義肢装具士の資質向上に関する事業

①義肢装具士養成教育委員会（中川委員長・野坂会長）

<令和4年度の活動報告>

(1)「義肢装具士養成所指定規則」「義肢装具士養成所指導ガイドラン」改正に向けた検討

令和3年1月より10回にわたって委員会を開催し、「義肢装具士養成所指定規則」ならびに「義肢装具士養成所指導ガイドライン」の改正案を作成し、厚生労働省へ提出した。厚生労働省医政局医事課ではこれらの改正及び施行（公布）に向けた準備が進められており、令和4年11月にはパブリックコメント公募のための原案作成に関する協力依頼が本委員会（構成員）にあったため対応した。

(2)「義肢装具士学校養成所カリキュラム等改善検討会（厚生労働省）」への構成員派遣

令和3年9月より厚生労働省において「義肢装具士学校養成所カリキュラム等検討会」(※参考1)が3回にわたって開催され、この検討会に本委員会より3名の委員（構成員）を派遣した。令和4年度においても厚生労働省医政局医事課から構成員に協力依頼があったため対応した。具体的には令和5年4月の「義肢装具士養成所指定規則」「義肢装具士養成所指導ガイドラン」の施行（公布）に向けて、厚生労働省医政局医事課においてパブリックコメント（義肢装具士学校養成所指定規則の一部を改正する省令案に関する御意見の募集について）(※参考2)を公募することとなり、原案作成に協力した。なお、この公募期間はすでに終了している。(令和5年1月31日～3月1日迄)

※参考1 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei_533684_00009.html

※参考2 <https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMM>

[STDETAIL&id=495220366&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMM&STDETAIL&id=495220366&Mode=0)

②義肢装具士の継続教育に関する事業

◆研修委員会（昆委員長・石原副会長）

・北海道支部セミナー

「足底装具実技セミナー第1弾～基本の足底装具製作適合に必要な技術と評価学～」

開催方法：対面

参加者：16名（正会員12名，非会員，4名）

・東北支部（2022/9/10開催）

「生活を支える義肢装具・今後の義肢装具士の役割と課題 第4弾

医療機関から在宅までの車椅子シーティングによる利用者支援（WEB開催）」

開催方法：WEB

参加者：41名（正会員39名，非会員，1名，学生会員 1名）

・西日本支部（2022年9/17開催）

「熱可塑性プリプレグカーボンで短下肢装具を製作しよう！！

～片側支柱付短下肢装具製作法～（対面開催）」

開催方法：実技セミナー

参加者：9名（正会員8名，非会員，1名）

・南日本支部（2022/9/17～9/19開催）

「坐骨収納型ソケット実技セミナー ライナー編（対面）」

開催方法：実技セミナー

参加者：8名（正会員7名，非会員，1名，購読会員 名）

- ・中部日本支部（2023年2月予定）

「脳卒中の歩行分析～基礎と装具～（WEB開催）」

開催方法：WEBセミナー

参加者：54名（正会員46名，非会員，4名，学生会員4名）

- ・東日本支部（2023/2月予定）

「先天性四肢形成不全児及び小児切断に対する義肢（対面式）」

開催方法：WEBセミナー

参加者：60名（正会員46名，非会員，6名，学生会員 8名）

- ・全国セミナー（2023/3/5開催）

「義足デザイン選択のための臨床推論とトラブルシューティング～義肢装具士への警鐘～（WEB）」

開催方法：WEBセミナー

参加者：130名（正会員121名，非会員，2名，学生会員 2名，医療関係5名）

◆学術誌編集委員会（奥委員長・後藤理事）

<今年度の活動実績>

- ・令和4年6月1日にPOアカデミージャーナル30巻第1号を発刊（電子ジャーナル）
 - ・令和4年7月8日に令和4年度第1回全国学術誌編集委員会（対面）を開催
 - ・令和4年9月1日にPOアカデミージャーナル30巻第2号を発刊（電子ジャーナル）
 - ・令和4年11月13日に令和4年度第2回全国学術誌編集委員会（WEB）を開催
 - ・令和4年12月1日にPOアカデミージャーナル30巻第3号を発刊。（電子ジャーナル）
 - ・令和5年2月26日に令和4年度第3回全国学術誌編集委員会（WEB）を開催。
 - ・令和5年3月中旬にPOアカデミージャーナル30巻4号を発刊予定（電子ジャーナル）
- ※（一部原稿の入稿遅延により発刊が遅れる予定）
- ・令和5年4月に令和4年度第4回全国学術誌編集委員会（WEB）を開催予定

◆生涯学習委員会（笹川委員長・藤本理事）

<今年度の活動実績>

- ・委員会開催
令和4年度 第1回委員会：6/5、第2回委員会：10/30
- ・生涯学習標準カリキュラム
「新人プログラム実施」
動画講座 第1期 2022年11月受講期間修了 修了者34名
第2期 2023年5月受講期間修了 受講者5名
対面講座 修了者45名（7/9岡山にて開催）
 - ・eラーニングWGが中心となり受付、視聴履歴の管理

- ・対面講座 WG が中心となり、対面講座の準備及び運営
 - ・eラーニング WG 及び成果検証 WG により受講履歴の管理
 - 「一般プログラム臨床コース準備」(2023 年 4 月受付開始)
 - ・カリキュラム WG が中心となり準備
 - ・カリキュラム決定、講師選定、講師依頼
 - ・配布資料用テキスト原稿、スライド資料、読み上げ原稿の校正
 - ・スライドのナレーション吹込みによる動画教材作成
 - ・生涯学習システム単位
 - 成果検証 WG が中心となり第 7 期単位制について、内容の改訂および公示
 - ・協会 HP 内のマイページ
 - eラーニング WG および成果検証 WG にてマイページの構成検討
 - 学術大会・セミナー・生涯学習プログラム、JJAPO、隣接学際領域など受講履歴、投稿履歴
獲得単位の管理およびマイページ掲載
 - 隣接学際領域の単位申請をマイページから申請できる体制作り
- 生涯学習標準カリキュラムは生涯学習委員で構成される各 WG が中心となり準備・運営に当たっている。生涯学習委員会は各 WG の横断的な情報共有や、必要な協議および運営サポートを行っている。

●生涯学習委員会/カリキュラム検討 WG (中村隆 WG 長)

<主な活動実績>

- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床基礎コース」のコンテンツ講師選定および作成依頼
- ・ナレーション謝金改定
- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床基礎コース」のコンテンツ校正作業
- ・WG の増員 (星野元訓氏 (東日本支部))
- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床探求コース (仮題)」のコンテンツ内容の精査および講師選定

<令和 5 年度の活動予定>

- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床基礎コース」のコンテンツ確定作業
- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床探求コース (仮題)」のコンテンツ確定および講師選定
- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床探求コース (仮題)」のコンテンツ作成依頼
- ・「標準カリキュラム 一般プログラム 臨床探求コース (仮題)」のコンテンツ校正作業

●生涯学習委員会/eラーニング WG (野村 WG 長)

<今年度の活動実績>

令和 4 年 7/ 1	新人プログラム動画講座 第 1 期運用開始
7/24	第 1 回 eラーニング WG 会議 (石原・藤本・野村・引地) 新人プログラムの現状確認・第 2 期の概要・問い合わせ対応について
11/ 1	新人プログラム動画講座 第 1 期受講者に受講期限残り 1 か月を通知
11/30	新人プログラム動画講座 第 1 期運用終了

12/11 第2回 eラーニングWG会議(石原・藤本・野村)
第1期受講状況確認・ヘルプデスク・受付システムについて
令和5年1/1 新人プログラム動画講座 第2期運用開始
2/19 第3回 eラーニングWG会議
新しい受付システム上での受講申込フォーム構築
第3期(2023年度前半)に向けての準備(一般PGのコンテンツ登録など)
フットケア足病WGのタスクシフト関連オンライン講座をLearningBOXに構築

●生涯学習委員会/対面WG(山口WG長)

<主な活動実績>

(1) 全体会議参加

開催日時:2022年6月5日(日) 8:00 ~ 10:00

開催場所:ZOOMを利用したWEB会議

出席者:石原 栄治(オブザーバー)、藤本 陽亮(担当理事)、笹川 友彦(委員長)、
樋原 滋樹(北海道)、引地 信博(東北)、山口 和章(東日本)、野村 崇(東日本)
中村 隆(東日本)、宇野 秋人(中部日本)、山藤 智基(西日本)、
成清 健市(南日本)(敬省略)

会議における対面WGからの発言次項(要点を議事録より抜粋)

○対面WGより現状報告(山口)

- ・岡山大会の対面講座について報告(決定事項)

開催日時 2022年7月9日(土) 18:10~19:10

開催場所 302会議室(マニファクチャラーズワークショップ会場)

講師調整 大野博美先生 内諾済(当日、新幹線にて往復・宿泊無し)

- ・当日会場スタッフについて

笹川・藤本・山藤・宇野・野村・樋原・成清・山口・事務局1名に決定

(集合時間、役割分担などは後日お知らせ)

- ・受講者アンケート

試験アンケートを委員の皆様へ配信後、回答及びご意見を募る

ご意見等なければ当日運用に使用する

- ・大野先生の配布物について

当日使用する講義資料は、前日までに笹川が先生より入手、

印刷の後、会場にご持参いただくことに決定

- ・当日のインターネット環境について

藤本氏より個人Wi-Fi提供いただくことに決定

(2) 全体会議参加

開催日時:2022年10月30日(日) 9:00 ~ 10:40

開催場所:ZOOMを利用したWEB会議

出席者:藤本 陽亮(担当理事)、笹川 友彦(委員長)、

樋原 滋樹（北海道）、引地 信博（東北）、山口 和章（東日本）、野村 崇（東日本）
中村 隆（東日本）、宇野 秋人（中部日本）、山藤 智基（西日本）、
成清 健市（南日本）（敬省略）

会議における対面WGからの発言次項（要点を議事録より抜粋）

○岡山大会対面セミナー開催報告

- ・ 基本的には問題なく進行した。講師（大野先生）がプロジェクターの上に物を置いてしまい、会場より注意を受けた（放熱を妨げ故障の原因になるため）。

○令和5年仙台大会一般対面セミナー、および令和6年東京（埼玉）大会について

- ・ 新人セミナーは大野先生に内諾を頂いている。一般はカリキュラムWGから村尾孝子氏に「医療接遇」をテーマとしてご講演いただくよう依頼済み。
- ・ 来年の大会長と対面WG・カリキュラムWGで講師の情報を共有してほしい。また大会中に新人と一般を並行して実施するのか、別の時間にするのかを大会長ないし実行委員長と話し合っしてほしい。
- ・ 引地委員が大会実行委員でもあることから、橋渡し役をお願いする。
- ・ 一般はできるだけ7/15夕方実施の方向で進める。講師にもそう伝えている。
- ・ 2つの会場を使用する費用の見積もりを大会側をお願いしたい。
- ・ 東京大会では3つの対面セミナーを行うことになるので、同時帯の開催は難しくなる。その予行演習と考えれば、今回2会場同時にこだわらなくても良いのではないか。
- ・ 他の一般演題等と重なることをなるべく避けたいので、なるべく同時帯が望ましいが、大会側の意向もあるので、配慮していただける範囲で…という形にならざるを得ない。
- ・ 当日の窓口業務を削減するためにも、メール画面を見せる、QRコードを読み込む等の方法で出欠管理ができると良い。
- ・ 事前受付であれば名簿を消し込むだけの作業なので、当日受付をどうさばくかがポイント。
- ・ マンパワーを大会側からお借りすることも検討したい。
- ・ イベントペイは個人情報保護に関する監督官庁からの指導が継続して入っており、コンサルタントからも見直しを勧められているため、次年度から変更になる可能性が高い。研修委員会で代替サービスを検討中だが、業務フローも再考が必要になるので、正式決定前から代替サービスの検討状況は共有していく。

●生涯学習委員会/生涯学習成果検証WG（樋原WG長）

<主な活動実績>

令和4年9月23日 令和4年度 第1回生涯学習成果検証WG会議
令和4年11月 生涯学習システム単位
第7期単位制度の要綱、制作・提出
令和5年1月15日 マイページ改修関係者会議

◆専門義肢装具士制度準備委員会（大西委員長・野坂会長・3副会長）

<今年度の活動実績>

- ・令和4年5月19日（木）第1回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和4年7月28日（木）第2回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和4年9月8日（木）第3回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和4年10月8日（土）第4回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：大阪 対面
- ・令和4年11月20日（日）第5回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和4年11月24日（木）第6回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和4年12月15日（木）第7回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和5年3月2日（木）第8回専門義肢装具士専門制度準備委員会
開催場所：WEB形式
- ・令和4年7月30日（土）第1専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との
合同会議 議事録
開催場所：WEB形式
- ・令和4年12月1日（木）第2回専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との
合同会議 議事録
開催場所：WEB形式
- ・令和5年3月9日（木）第3専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との
合同会議 議事録
開催場所：WEB形式（予定）

●フットケア分野（下肢救済分野）WG（安田WG長・本田理事）

<今年度の活動実績>

令和5年2月28日現在14回の委員会を開催している。第15回を3月2日に予定している。

岡山での日本フットケア足病医学会との合同実技セミナーの開催を受け、日々タスクシフト/シェアに向けて準備を行っている。

要旨としては、23年3月に定員40名、受講料5万円（eラーニング受講代含む）での開催を目標としていたが、3月中の開催を延期し7月頃を目途に実施したいと考えている。

基礎知識の項目内容・時間、システム構築を行った。基礎知識（コンテンツ）については、資料提供いただく日本フットケア足病医学会へ使用願を行っていたが、使用許可を得てそれぞれの項目の講師

へ使用許可を依頼する段階となっている。

会場に関しては、当初西武学園に交渉していたが、収容人数に問題があるとのことで再検討中である。

基礎知識についてはフットケア足病医学会の項目をお借りし、参加者に受講頂き、受講修了者への実技講習となる。フィットケア学会へのシステムの借用については、受講者一人当たり8千から1万円程度（受講料として）を予定している（コンテンツ等の使用料として）。現時点での概算ではあるが予算（案）既に前回の理事会報告で報告済みである。

実務に関しては、前回の岡山大会の実績を踏まえ準備していく。

●車椅子シーティング WG（北川委員長・藤本理事）

<今年度の活動実績>

(1) 講習会活動

①2022 年度第 1 回車椅子姿勢保持基礎講習（障害分野）の準備

日本義肢装具士協会、日本義肢協会、日本車椅子シーティング協会、車いす SIG 共催
(主催：テクノエイド協会)

8～9 月にかけて、動画配信＋集合実習で開催予定として準備を進めていたが、受講申込者が予定数を大きく下回り、また、新型コロナウイルスの感染者が急拡大している状況を鑑み、中止。

②2022 年度第 2 回車椅子姿勢保持基礎講習（障害分野）の準備・開催

日本義肢装具士協会、日本義肢協会、日本車椅子シーティング協会、車いす SIG 共催
(主催：テクノエイド協会)

・開催方法：オンデマンド形式

・日程：講義動画配信期間 2023 年 2 月 6 日（月）～2 月 27 日（月）

・会場：オンデマンド動画配信

(2) 他団体の情報収集・高齢分野の情報収集

①車椅子姿勢保持基礎講習（高齢分野）への講師参加

一般財団法人啓成会主催

・日時：2023 年 2 月 9 日、10 日を開催

・会場：一般財団法人啓成会

→10 日に公益社団法人日本義肢装具士協会の講師として参加

②シーティングエンジニア認定試験委員会(JAWS)への出席

<シーティングエンジニア認定試験委員会>

・日時：2022 年 10 月 23 日（日）10：30～17：00（最大 18：00）

・場所（予定）：浜松町駅周辺の会議室を予定。

→受講申込者が予定数を下回り、11 月 23 日～27 日開催予定のシーティングエンジニア養成講習会および認定試験が中止のため、委員会も中止。

③日本シーティングコンサルタント協会(JSSC)の認定制度の情報収集

シーティングコンサルタント義肢装具士(JSSC 認定)認定講習会への参加(オンデマンド配信)

(3) 委員会ミーティング開催

①第1回車椅子シーティング専門WG委員会開催（議事録添付）

議題「シーティング専門義肢装具士シラバス案作成」

開催日時：令和5年2月22日(水) 18:30 ～ 23:00

開催場所：Web形式（WebEX）

出席者：藤本陽亮担当理事 星野元訓委員 北川新二

●脳卒中下肢装具WG（村山委員長・昆理事・石原副会長）

<今年度の活動実績>

- (1) 7月30日「第1回 専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との合同会議」の参加
- (2) 12月1日「第2回 専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との合同会議」の参加
- (3) 12月25日「第1回脳卒中下肢装具WG会議」の開催
 - ・指定講習のシラバス内容検討および決定
 - ・実技講習の内容検討および決定
 - ・実技講習のルーブリック評価表検討
- (4) 3月9日「第3回 専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との合同会議」の参加予定
 - ・各WGからのプレゼンテーション

●大腿義足WG（東江委員長・野坂会長）

<令和4年度の活動実績>

- ・令和4年12月20日（木）第1専門義肢装具士制度準備委員会・大腿義足WG開催（WEB開催）
令和4年12月1日（木）に開催された第2回専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との合同会議における方針をWG委員と情報共有し、その方針に基づくシラバスおよび研修内容等の方向性を話し合った。具体的には第2回WGで決定することになった。
- ・令和5年1月19日（木）第2専門義肢装具士制度準備委員会・大腿義足WG開催（WEB開催）
令和5年3月9日（木）開催予定の第3専門義肢装具士制度準備委員会と各WG委員長、担当理事との合同会議に向け、シラバス、研修内容について大腿義足WG案を決定した。

2) 義肢装具士業務及び関連する制度の改善等に関する事業

①倫理委員会（村原委員長・芥川理事）

<今年度の活動実績>

- ・パワハラ、セクハラ等のガイドライン作成および活動に必要な委員の拡充
ガイドラインの対象を「臨床実習生に対するハラスメント」とし、その構成はガイドライン、マニュアルおよび事例集とした。作成は社会保険労務士（以下、社労士）に業務委託し、義肢装具士

の業務や教育について当委員会が情報提供するという体制をとることとなった。また、日本義肢装具教育者連絡協議会（以下、教連協）と協業することとなり、教連協の推薦者を当委員会の委員として迎えた。さらに、教連協の臨床実習に関するワーキンググループ（以下、WG）からハラスメント事例の提供について協力が得られた。

当協会と社労士との間で業務委託契約を締結のうえ、事例等の情報提供を行い、1月上旬に社労士よりガイドライン一式の案（第1校）が示された。これを受けて当委員会で内容を検討し、2月上旬に社労士に対し加筆・修正等を依頼した。なお、当委員会で検討した際、マニュアルを臨床実習指導者向けと学生向けの2種類に分ける意見が出たので、教連協にその要否について確認することとなった。ただし、学生向けマニュアルの作成は、社労士への新規の依頼となるため、別途費用がかかる。学生向けマニュアルを除く当初のガイドライン一式は、順調であれば、令和4年度中に第2校が示される予定である。

- ・賛助会員入会時の誓約書の素案作成

委員会としての活動は特になし。

- ・倫理綱領の再検討

委員会としての活動は特になし。

②義肢装具士業務の対価化検討WG（石原委員長・徳田理事）

<今年度の活動実績>

(1) WG 会議開催

① R4年9月7日 第1回PO業務対価化WG会議

② R5年2月5日 第2回PO業務対価化WG会議

(2) 「令和4年度補装具費支給基準告示改定に向けた書面ヒアリング」関連資料作成

「令和4年度補装具費支給基準告示改定に向けた書面ヒアリング」に関しては例年、当WGで取りまとめ、自立支援室に提出しているが、本年度はホームページ上で、会員に改定案を募集した結果、8/18の締め切り時、応募が0件であったことから、会長・副会長会議にて、3案を提出することになり、当WGから添付資料として義肢装具士の他の医療職種と比した給与（時給換算）の比較表を作成し提出した。

(3) リスト収載検討WG 関連資料作成

12/14のリスト収載検討WGにおいて現在リスト化されている既製品装具47品目中3品目に適用されている算出式（採型×0.52）の「採型」である根拠が問題となり、12/24に会長より、上記「根拠」を示すよう要請があった。

これを受け当WGでは、基本価格に含まれる人件費を、製作工程別に時間表記されている唯一の厚労省資料である飯田報告書を基に、既製品装具に係る義肢装具士業務を抽出し、すべての既製品装具の義肢装具士業務対価を（採型×0.3）として「適合調整費の提案書」にまとめ、1/5の会長副会長会議にてプレゼンを行った。

1/8に会長より、神谷専門官ならびに義肢協会代表者に提案いただいたが、計算式に「採型」の文言が残ることと、現在進行中の状況を変更する必要があることから却下となる。

③義肢装具士白書編集委員会（名和委員長・石原副会長・後藤理事）

<主な活動実績>

【実施業務】

- ・目次内容及び執筆内容の全体構成を思案
- ・外部執筆者の選定作業
- ・第4回義肢装具士実態調査 アンケートの送付と回収作業
- ・うるる BPO によるアンケート結果のデータ処理および集計作業
- ・第Ⅰ部「補装具（義肢・装具）の需要と供給」医療、福祉、労災領域の委員による執筆
- ・第Ⅱ部「第4回義肢装具士実態調査」のコメント挿入とクロス集計のグラフ編集作業
- ・第Ⅲ部「義肢装具士教育の過去と未来」の校正作業
- ・第Ⅳ部「日本義肢装具士協会によるパラスポーツ支援 ～スポーツ庁事業とのかかわり」の内容確認と校正作業
- ・第Ⅴ部「統計・資料編」の編集作業
- ・アイベックへの入稿完了（2月中旬）

④義肢装具士業務指針 WG（大塚委員長）

<主な活動実績>

- ・業務指針改定案について、再度検討を行う。
- ・関係団体に業務指針案について承諾を得るため、活動を行う。

3) 社会貢献に関する事業

①パラスポーツ支援に関する事業

（活動休止中）

②障がい者／パラアスリート／義肢装具士啓発 WG（安部委員長・保谷理事）

<令和4年度の活動報告>

○WG 第1回委員会

日程：2022年7月3日（日）

場所：対面形式

時間：13：00 ～ 16：00

内容：① WG 活動の HP 掲載状況

②TEPRO Supporter Bank への登録・運用について

③幹事業務日程マニュアルについて

④ HP 掲載開催報告書の改訂作業について

⑤令和4年度 武蔵野市 中央高等学院通信制 高校生対象の職業説明会

「教育機関等への義肢装具啓発プログラム」の企画協議

⑥授業用教材作成について

○第1回 教育機関等への義肢装具啓発プログラム

日程：2022年8月8日（月）

場所：武蔵野市 中央高等学院通信制（webにて開催）

時間：13：30～15：00（4分）

対象：中央高等学院と提携校の高校2年生と3年生。主に2年生

内容：①チーム医療について

②チーム医療に関わる職種紹介

公認心理師 ソーシャルワーカー 義肢装具士 栄養士 言語聴覚士 作業療法士
視能訓練士 診療情報管理士 診療放射線技師 精神保健福祉士 理学療法士 臨床
検査技師 臨床工学技士 細胞検査士 臨床心理士 患者・ご家族

③質疑応答

幹事：荒井 WG 委員

○WG 第2回委員会

日程：2022年10月23日（日）

場所：Web形式

時間：15:00～18:00

内容：① 令和4年度 武蔵野市 中央高等学院通信制

「教育機関等への義肢装具啓発プログラム」の開催報告

② 授業用教材 VOD の進捗状況報告

③ TEPRO サポーターバンク登録に関する報告

④ 幹事業務日程マニュアルに関する進捗状況報告

○第2回 教育機関等への義肢装具啓発プログラム>

日程：2022年12月19日（月）

場所：武蔵野市 中央高等学院通信制（webにて開催）

時間：10：30～15：00（30分）

対象：中央高等学院と提携校の高校生

内容：①チーム医療について

②チーム医療に関わる職種紹介

③質疑応答

幹事：菅野 WG 委員

○WG 第3回委員会

日程：2023年2月26日（日）

場所：Web形式

時間：13:00～16:00

内容：① 令和4年度 第2回 武蔵野市 中央高等学院通信制

「教育機関等への義肢装具啓発プログラム」の開催報告

② 石川県職種紹介誌におけるインタビュー記事への協力に関する報告

③ 授業用教材 VOD の進捗状況報告

④ 幹事業務日程マニュアルに関する報告

○石川県職種紹介誌におけるインタビュー記事への協力

日本医療企画 北信越支社より、石川県の中学生・高校生を対象とした医療職の職種紹介誌「お仕事まるわかり事典 2023 石川版」に義肢装具士の掲載依頼があり、その紹介文と Q&A の原稿を当 WG 委員が執筆した。

○授業用教材の作成

新型コロナウイルス蔓延防止のためオンライン上でイベントを開催する目的で、講師・義肢ユーザーの講演 VOD を作成している。VOD 作成のための原稿内容を再度委員間で検討し、10 月末で完成した。

VOD の原稿が完成し読み上げの文字数も確定したため、東名ブレース宇野氏を仲介としてナレーターへ謝金を提示したところ、ナレーションの内諾を頂いた。

2 月中旬にナレーションが吹き込まれた PPT データが完成し、現在 WG 内で修正点等を協議している。場面転換時の音の吹き込みを行い、章ごとにメリハリを持たせられるようにしていく。

○幹事業務日程マニュアルの作成

一連の流れに沿って骨子を完成させ、第 3 回 WG 会議にて協議する。各業務に対応するメール雛形文章をそれぞれリンクさせる事で利便性も持たせられている。

<今後の活動予定>

○授業用教材の作成

画像使用に関して、現在スライド内で使用している画像の一部はネット上からの引用又は各企業のカatalog上の画像を使用しているため、個人撮影した画像等に差し替えるか、差し替え不可の場合には引用先に正式に許可をとり、クレジットを掲載するなどを検討している。

また、VOD の配信方法も研修委員長・生涯学習委員長に確認し、PO 啓発 WG の考えに沿った方法で行う事を検討する。

場面転換の音入れや全体の微調整等を行い、3 月末までに完成させる予定。

③大規模災害・地域多職種連携委員会（根岸委員長・本田理事）

<令和 4 年度の活動報告>

大規模災害・地域多職種連携委員会の令和 4 年度の活動としては、9 月に会議を 1 回開催し、PT 協会北海道支部との協働で装具困窮者に対する取り組み参加について議論を行った。

また参画する一社日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）の理事会、広報委員会、研修企画委員会、地域 JRAT 組織化支援委員会及び災害時福祉用具等調達普及委員会のそれぞれに理事及び委員を派遣して JRAT 構成団体としての活動を行っている。

④国際委員会（楡木委員長・大西理事）

<令和 4 年度の活動報告>

- ・国際助成金 今年度の申請受付と協議
スリランカ 義肢装具カレッジへの緊急支援 50 万円分について協議中
- ・仙台大会の外国人講師の提案を依頼され、提案が採択された（タイ）
- ・新委員長、委員の推薦とコンタクト（本人の内諾済み）

- ・日本 ISPO 事務局メンバーより JSPO 新潟大会での Marlo 大会長の来日の報告

⑤アビリンピック支援 WG（芥川委員長）

<今年度の活動実績>

- ・第 44 回愛知県障害者技能競技大会（第 43 回愛知県アビリンピック）
開催日：2022 年 6 月 12 日（日）
会 場：専門学校日本聴能言語福祉学院
種 目：義肢（下腿義足（PTB 式）ソケットの製作）
- ・第 42 回全国障害者技能競技大会（第 42 回全国アビリンピック）
開催日：2022 年 11 月 4 日（金）・5 日（土）・6 日（日）・20 日（月）
会 場：幕張メッセ
種 目：義肢（下腿義足（PTB 式）ソケットの製作）

4) 学術大会委員会（宮本委員長・本田理事・大塚副会長）

<令和 4 年度の活動報告>

- ・第 28 回 岡山大会（令和 4 年開催終了後のサポート、課題の共有）
- ・第 29 回 仙台大会（令和 5 年開催予定）のサポート、課題の共有）
- ・第 30 回 埼玉大会（令和 6 年開催予定）のサポート、課題の共有）
- ・第 31 回鹿児島大会（令和 7 年開催予定）のサポート、課題の共有）
- ・令和 4 年度第 1 回学術大会委員会を開催（R4.8.21：一部対面＋WEB：11 名）
- ・令和 4 年度第 2 回学術大会委員会を開催（R4.12.10：一部対面＋WEB：10 名）

5) 広報委員会（植松委員長・大塚副会長）

<令和 4 年度の活動報告>

- 広報委員会を第 6 回まで開催し、今後の予定について検討した。
- 毎週金曜日 or 土曜日に SNS（Instagram と Twitter）のアップを行った。

6) 組織率向上 WG（徳田委員長・植松理事）

<今年度の活動実績>

今年度は組織率向上の手段として新コンテンツの導入を図り、新コンテンツ「PO パッド」（仮称）のアプリケーション骨格の暫定的な決定、及び投稿・閲覧規程の議論を行った。
現在は、web 上にて無償でアプリケーションの構築を行っているところである。

7) 総務委員会（中村委員長・根岸副会長）

<令和 4 年度の活動報告>

- ・第 1 回理事会、事業・会計監査、社員総会への決算報告
- ・令和 4 年度の財務三基準遵守に向けた対策の検討
- ・役員報酬の科目変更に対する検討

- ・インボイス発行事業者登録に向けた検討
- ・eラーニングコンテンツ等のナレーション挿入に対する費用の取り扱いに対する検討
- ・補正予算申請の審議（9件）
 - ・令和5年度予算案（総務委員会）を作成し、理事会（3月）に提出した。
- ・公益法人財務三基準を遵守できるよう令和4年度の収支状況を把握し、適切に対応する。

8) 定款会則検討委員会（大塚委員長）

<令和4年度の活動報告>

- ・『支部運営規程（案）』を理事会（6月）に提出し承認された。
- ・『支部運営規程』について支部長会より、改正の要望があり同会と協働で作成した改定案を理事会（9月）に提出し承認された。
- ・『事務処理規程』と『理事の職務権限規程』の別表にある決済項目に類似した記述があったので整理する改定案を作成し、理事会（12月）に提出し承認された。
- ・『謝金規程』について学術誌編集委員会より、座談会記事の参加者への謝礼に関する項目を追加する要望があり、改定案を理事会（12月）に提出し承認された。

9) 個人情報保護委員会（中村委員長・根岸副会長）

<令和4年度の活動報告>

- ・2022年4月に施行された改正個人情報保護法の内容を規程に反映し整備した。
- ・正会員向け個人情報保護WEBセミナーを行った（令和4年9月15日）。
- ・従業者向けオンライン定期研修を行った（令和4年11月17日）。また、当日参加できなかった従業者向けのオンデマンド研修を行った（令和4年11月17日～12月5日）。
- ・社内向けクラウドストレージの試運用を開始した。
- ・内部監査を実施した（令和5年2月1日）
- ・マネジメントレビューを実施予定（令和5年3月22日）

10) 渉外活動（野坂会長）

- ①委員会の派遣
- ②関係団体と折衝／連携等
- ③構成団体としての連携

4. 各支部の活動報告（各支部長・非理事支部は保谷支部長会担当理事が報告）

1) 北海道支部（田村支部長）

<今年度の活動実績>

○装具相談窓口設立事業関連

- ・9/21（水）：第2回大規模災害・地域多職種連携委員会にて、北海道PT協会装具相談窓口設立事業に対するの相談（WEB）

- ・ 10/24 (月) : 北海道 PT 協会職能局長 (千葉様)
北海道 PT 協会職能局委員 (春名様)
田村支部長・佐藤副支部長 装具相談窓口事業 4 者ミーティング (WEB)
- ・ 11/15 (火) : 北海道 PT 協会職能局主催
「事例から考える生活期の/下肢装具ユーザーのフォローアップの有り方」
ミーティング参加 田村支部長 佐藤副支部長 (WEB)
- ・ 1/18 (水) : 研修会準備ミーティング (WEB)
- ・ 2/15 (水) : 研修会準備ミーティング (WEB)
- ・ 2/18 (土) : 研修会開催
北海道 PT 協会職能局主催
(公社) 日本義肢装具士協会 (北海道支部) 後援
「事例から考える生活期の/下肢装具ユーザーのフォローアップの有り方」 (WEB)
- ・ 3/2 (木) : 装具相談窓口設立ミーティング (WEB)
- ・ 3/末 : 装具相談窓口設立ミーティング予定 (WEB)
- ・ 4/15 (土) : 日本義肢協会 北海道支部にて装具相談窓口報告予定 (対面)

○DORAT 活動報告

- ・ 10/6 (木) : 定例会議 早川委員 (WEB)
- ・ 12/1 (木) : 定例会議 小塚委員 (WEB)
- ・ 1/29 (日) : 地域包括ケアシステムにおける介護予防アドバイザー養成研修会参加
—災害時のリハビリテーション支援に関する研修—
(主催 北海道リハビリテーション専門職協会) 早川委員
- ・ 2 か月に一度定例会議予定

○北海道支部役員会

- ・ 10/24 (月) : 第 1 回北海道支部役員会開催 (ハイブリッド)
- ・ 11/29 (火) : 北海道支部予算案作成会議開催 (対面)

○北海道研修委員会

- ・ 2022 年 7 月 16 日 (土) ~17 日 (日)
足底装具実技セミナー第 1 弾
基本の足底装具製作適合に必要な技術と評価学
- ・ 11/13 (日) : 第 1 回北海道支部研修委員会開催 (WEB)

○北海道支部編集委員会

- ・ 1/7・8 : 北海道編集委員会開催 (WEB)

2) 東北支部 (内田支部長)

<今年度の活動実績>

主だった活動はありませんでした。

- 令和 3 年度 第 10 回学術大会準備委員会 2022,5,28(土) web 会議
- 令和 4 年度 第 1 回学術大会準備委員会 2022,6,22(水) web 会議

- 令和4年度 第2回学術大会準備委員会 2022,7,13(水) web 会議
- 令和4年度 第3回学術大会準備委員会 2022,8,26(金) web 会議
- 令和4年度 第4回学術大会準備委員会 2022,9,30(金) web 会議
- 第38回日本義肢装具学会学術大会 ブースにて広報活動 2022,10,8(土) 9(日)
- 令和4年度 第5回学術大会準備委員会 2022,10,26(水) web 会議
- 令和4年度 第6回学術大会準備委員会 2022,12,22(木) web 会議
- 東北6県会議(研修・編集委員会含む) 2023,2,18(土)対面、web のハイブリッド会議
- 第4回福島在宅医療・介護連携支援センター「在タッチ」市民公開講座 web 後援
2023,3,23(木)~4,2(日)

※支部長会議も支部の長としての参加であり、活動の一環と考えますが今回は割愛させていただきました。

3) 東日本支部 (保谷支部長)

<令和4年度の活動報告>

○R4年度 第1回支部会

日程：令和4年9月11日(日)

場所：Web形式 (Zoom)

時間：10:00 ~ 11:37

内容：①R4支部活動に関する協議

②PO啓発WG 事業活動報告

③次期支部長に関する協議

④第30回学術大会 進捗報告

○R4年度 第2回支部会

日程：令和5年4月(予定)

場所：Web形式 (Zoom)

時間：9:00 ~ 10:30

内容：①R4支部会計報告

②R5支部事業活動計画に関する協議

③R5 PO 啓発 WG 事業活動計画に関する報告

④第30回学術大会 進捗報告

4) 中部日本支部 (芥川支部長)

<今年度の活動実績>

- ・第1回 JAPO 中部日本支部編集委員会 (令和4年5月28日(土)) WEB
- ・第2回 JAPO 中部日本支部編集委員会 (令和4年10月22日(土)) WEB
- ・第3回 JAPO 中部日本支部編集委員会 (令和5年2月18日(土)) 対面
- ・第1回 JAPO 中部日本支部研修委員会 (令和4年10月1日(土)) WEB
- ・第2回 JAPO 中部日本支部研修委員会 (令和5年1月21日(土)) WEB

- ・ JAPO 中部日本支部研修委員会 中部日本支部セミナー（令和 5 年 2 月 19 日（日））
テーマ：「脳卒中の歩行分析と装具」
開催形式：オンライン配信

5) 西日本支部（山藤支部長）

<令和 4 年度の活動報告>

- 5 月 15 日 2022 年度第 1 回研修委員会西日本支部会議参加
- 6 月 5 日 2022 年度第 1 回支部長会参加
- 7 月 3 日 2022 年度第 1 回編集委員会西日本支部会議参加
- 7 月 9 日、10 日 第 28 回日本義肢装具士協会学術大会参加
- 8 月 8 日 2022 年度第 2 回支部長会参加
- 11 月 13 日 第 3 回支部長会参加
- 2 月 8 日 第 4 回支部長会参加
- 2 月 19 日 西日本支部研修委員会参加
- 2 月 28 日 広島国際大学にて支部活動依頼

6) 南日本支部（本田支部長）

<令和 4 年度の活動報告>

- ・ 第 31 回日本義肢装具士協会学術大会大会長・実行委員長の推挙について
- ・ 次期支部長・副支部長推挙について
- ・ R5.3 月末に支部会の開催予定

事業報告の附属明細書

令和4年度(令和4年5月1日～令和5年4月30日)事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 日本義肢装具士協会